

La Informilo de Nagoja Esperanto-Centro

センター通信 第303号 2022年1月27日発行

発行：名古屋エスペラントセンター Nagoja Esperanto-Centro

461-0004 名古屋市東区葵一丁目26-10ユニーブル新栄301号

公式サイト <http://nagoja-esperanto.a.la9.jp/>

Facebookページ <https://www.facebook.com/nagoja.esperanto>

郵便振替口座 00840-8-40765 「名古屋エスペラントセンター」



製本された「センター通信」バックナンバー

◀◀ 目次 ▶▶

蔵書への提案と展望（永瀬義勝）	2
「センター通信」全バックナンバーを合本製本	3
コロナに負けずにオンライン会話の会（伊藤順子）	4
ザメンホフ祭報告	5
活動日誌・維持員総会お知らせ・編集後記	6

蔵書への提案と展望

永瀬 義勝

現在、名古屋エスペラントセンターにはギッシリと本が詰まった5段(幅80cm)の書架が十本程立っている。そこに並ぶ6割の本には蔵書登録のために4桁の数字が印字された紙片が挟まれている。この数字の割り付りは(ciferado)作業の効果的な実施に不可欠な第一段階である。しかし、二年に渡るコロナ禍や担当者の事情等でこの作業が久しく滞っているのが現実である。早いコロナ禍の解消と共に作業が再開されることを願って止まない。

エスペラント運動資料館の蒐集対象は書籍のみならず原稿、書簡、ポスター、チラシ、大会記念品そして、写真等の多岐にわたる。しかし、日本ですでに開かれたり、あるいは設立中のエスペラント図書館は蔵籍中心である。エスペラントが1887年に出版された最初入門書"La Unua libro"により世界に登場した事実を思えばこの事態は良く理解できる。

この様な状況下で我々の資料館に特徴を持たせ、かつ運動史研究に寄与するために写真蒐集を行いFototeko設立を提案する。幸い当センターには鈴木善彦氏により長年に渡り撮られた写真が時系列に整理され保存されているのでこのコレクションを核にして故人の遺族より寄贈された写真や各自が所有しているショットで運動史の視点より重要な物を持ち寄り写真のアーカイヴ創りをセンター設立五十周年記念行事の一つとして推したい。

パソコンの長足の進歩のおかげで写真を量的に整理し登録する処理は驚く程容易になった。しかし、問題は質の高いアーカイヴをいかに構築するかにある。写真という特性から撮影時期、撮影場所の特定、そして写っている人物等の特定(identigo)はアーカイヴ資料としては特に重要である。蒐集した写真は出来るだけ一特に集合写真は一早く多人数で見て集合知(kolektiva menso)を用いて被写体の人物特定を行わなければならない。

センター設立から三十年ほどは積極的に新本購入や関係雑誌の購読等で意識的に蔵書を築いてきたがその後は財政な事情により蔵書の増加は故人の蔵書寄贈に依っている。しかし、そのために貴重本の重複はかなりの冊数に達している。これらの複本を利用して他の施設との交換に使用し蔵書の間隙を埋めて行けばよい。

「センター通信」

全バックナンバーを合本製本

前号で、「センター通信」バックナンバーをデジタル化し、クラウドストレージに保管したことをお知らせしました。

それとは別に、紙に印刷された「センター通信」の製本を山田義さんをお願いしていましたが、昨年11月に完成し、現在センター事務所に保管しましたので、自由に閲覧していただくことができます。

山田さんからは以下の覚書をいただいています。

300号が発行されてから、委員会では「通信」の1号からデジタル画像として保管することになり、スキヤニングを済ませたものが送られてきた。それを引き受けて、紙の冊子を4巻に合本した。そして第5巻は、255号以降302号まで改めてプリントアウトして、第

5巻として合本した。表紙は市販のバインダーを改良してそれに充てた。こうしてエスペラントの定期刊行物を纏めて綴じていると竹中治助(1904-2001)さんを思い出す。この人は内外の雑誌を購読しきちんと保管し自分の手で綴じて大事に保管していた。センターでは今もそれを預かっている。デジタル時代といってもやはり紙の資料が残るのが必要だと思う。その時代の印刷技術、用紙の扱いなど多くを語るからである。

2021年11月8日 山田義



コロナに負けずにオンライン会話の会

伊藤 順子

2021年5月に山田義さんが大学生の孫娘の高井夏和花（ななか）さんとオンラインでエスペラントの勉強会を始めました。テキストは安達信明さんの『エクスプレス エスペラント語』。一通り終わったところで、7月から私に加わって週1回の初級会話講座“Ekpaŝu!”が始まりました。こちらのテキストはBelmontoさんの『Paŝeto al Esperanto』を使って、大きな声であいさつから始まりました。

山田さんからは、「r」と「l」の発音の指導を受け、高井さんと私は何度も反復練習!“「r」のラレリロルは、しっかりと発音して、「l」は、上の前歯に舌尖をくっつけてだらしく発音してね!”, “しゃべる前に、3つの単語くらいを頭の中に浮かべておいて話すと、スムーズに言うことができるよ!”。あいさつのは、Saluton! というより、“Kiel vi fartas?”でした。“Mi fartas bone, kaj vi?” ... と会話が続いていきました。

その他、歌を歌ったり質問し合ったりして毎週1時間の講座は笑いがいっぱい楽しく学びました。8月には、広島エスペラントセンター所属の中野真人さんが加わりました。

9月の日本エスペラント大会では、“Ekpaŝu!”のメンバーがBabilejoに参加し“Ekpaŝu!”の講座紹介をしました。ここには、大勢の方が入れ替わり立ち替わりに参加してくださって、5時間以上もおしゃべりが途切れることなく大盛況でした。この報告を下記のようにLa Revuo Orienta 1月号で報告しました。

Por mia naskiĝtago, unue ni ĉiuj kantis “Por via tago!”-n, kiun gvidanto S-ro Jamada Tadaŝi preparis. Post kantado, ni ekzercis la konversacian praktikon, kiun ni faras ĉiufoje.

Li konsilis nin paroli ritme kaj kuraĝe por konversacio, kaj ni ekzercis la prononcon de “r” kaj “l” laŭte ktp. Post la tagmeza tempo, la Babilejo daŭris 5 horojn kun eksterlandaj kaj japanaj partoprenantoj. Mi eniris kaj eliris ĝin, sed ĝi estis amuza babilejo por mi.

山田さんはいろいろな企画をして参加者を楽しませてくださいました。11月にはゲストに、エストニアのエスペランチストLydia Lindlaさん、それに半世紀以上エスペラントを続けておられる米川五郎さんを招待しました。7時間の時差があるLydiaさんは朝の8時に、こちら日本では午後3時から開始。Lydiaさんは、エストニアの自宅の内外を見せたり、写真などを共有して歴史や文化を伝えてくださいました。米川さんはエスペラントを長くやってきたけれども話す機会が少なかったとのこと

でしたが、93歳でも衰えていないやる気に、みんなが元気をいただいて、笑いが絶えないおしゃべりが続きました。彼女を講演者として仕立てて通訳をしてみるという体験もありました。

12月末に“Ekpašū!”は無事に終了しました。



ザメンホフ祭報告

名古屋エスペラントセンターは、東海地方のザメンホフ祭を忘年会にて開催した。

場所は居酒屋「座座さかえ店」(愛知県名古屋市中区)

会費：3500円。参加7名(山口真一[幹事]、伊藤俊彦、小川博仁、鈴木善彦、永瀬義勝、堀田裕彦、湯浅典久)。

感染症が続いた1年のエスペラント運動などをふりかえって、自由に歓談した。

その後、二次会にも4名が参加した。(堀田裕彦)

活動日誌（11月から1月）

- 11/4（木）19時から20時半 センター委員会
11/12（金）17時半から19時半 中級学習会
11/23（火）16時から18時 読書会（オンライン開催）
11/26（金）17時半から19時半 中級学習会
12/3（金）19時から20時半 センター委員会
12/10（金）17時半から19時半 中級学習会
12/21（火）15時から17時 読書会（オンライン開催）
12/21（火）17時から 読書会打上げ（オンライン開催）
12/23（木）17時半から19時半 中級学習会
1/13（木）17時半から19時半 中級学習会
1/19（水）19時から20時半 センター委員会
1/25（火）16時から18時 読書会（オンライン開催）
1/27（木）17時半から19時半 中級学習会

維持員総会のお知らせ

維持員総会は毎年一回開催される議決機関です。委員会より活動報告・会計報告を行い、新年度の活動について話し合います。また新しい委員の選出を行います。

日時：3月12日（土）14時から17時まで

場所：松原コミュニティセンター

名古屋市中区松原二丁目22-24

（地下鉄では東別院駅または大須観音駅が便利です）

オンライン（Zoom）での参加もできます。その場合、3月10日までに、メールで「総会にオンライン参加希望」と書いて、委員長宛にお送りください。

▶編集後記

○今号はわずかに6ページになってしまいました。予定していた原稿が遅れている、という事情もあるのですが、私・編集者の責任でもあります。皆様からの原稿がいのちですので、どうぞ寄稿をお願いします。○総会ではWi-Fi環境を考慮して、集会施設を予約しました。対面が望ましくはありますが、無理ならオンラインでご参加ください。（山口）